

# HBCテレビによる『遺愛の桜』の 取材がありました！！

4月23～25日にかけて、HBCテレビによる「遺愛の桜」の取材がありました。戦後70年の節目の時に、戦争をはさんで遺愛の桜がどうなっていたのかを取材していきました。

遺愛の前庭にある桜は戦後すぐに植えられた桜です。実は、戦前も前庭には桜がたくさんあり、春にはガーデンパーティが開かれ、桜の下で、お茶を嗜んだり、ダンスや合唱、演劇なども披露されました。しかし戦前の桜は昭和18年にほとんど伐採されてしまいました。もちろんガーデンパーティも中止、そして前庭にはアメリカ軍の空襲に備えて、防空壕が19ヶ所も生徒の手によりつくられました。

遺愛の校舎は昭和20年4月20日には日本軍の連隊司令部として接收され、遺愛の生徒達は的場国民学校で学ぶようになりました。しかし工場や畑地の労働奉仕が中心で、ほとんど勉強できるような状態にはありませんでした。8月15日の敗戦後、ようやく校舎が遺愛に返還されるのは1ヶ月以上たった9月20日でした。毎朝の礼拝も復活するのですが、最上級生の半数はまだ稚内近くの豊富・幌延に援農に行っていて帰ってこれないでいました。樺太からの引き揚げ者が優先されたようです。ようやく帰ってくるのが10月28日でした。翌年4月には防空壕は壊され、戦後の桜が植えられました。

今は、桜の時期に生徒達が昼食会を行っています。その様子もテレビ局は取材していきました。放映予定は5月1日（金）HBCテレビ18:15『今日ドキッ！』だそうです。時間がゆるせば、ぜひご覧下さい。



昭和17年のガーデンパーティ



4月25日 日本館



4月25日 前庭



昼食の様子



撮影の様子



撮影の様子

2015年4月27日（月）